

会議資料について

1 議題：ライフバス再編にかかるスケジュールについて

「スクールゾーン解除の手続きについて住民合意を図るため継続協議中となっております」とあるが、三芳町との協議に基づき本年4月の規制解除に向けた手続き終了後に三芳町が一部の反対者に対し「規制の解除は警察が勝手に進めている。」「三芳町として交通規制の解除は要望していない。」等の言があったため、スクールゾーンの解除にあっては一度白紙に戻すこととなっている。

三芳町からは未だ連絡はないため継続協議とはなっていない。

【回答1】

「スクールゾーン解除の手続きについて住民合意を図るため継続協議中となっております」という明記については、東入間警察署のみならず、住民を含めた各関係機関との協議を意味しております。東入間警察署とは令和2年3月10日に実施した協議により、住民合意をもってスクールゾーン解除するといった方向性の確認及びそれに向けた今後の県警、東入間警察署並びに三芳町の定期的な協議の実施について確認していると考えております。しかし、その後新型コロナウイルス感染拡大の影響により各関係機関との協議が実施できず、ご指摘のとおり3月10日以降は東入間警察署との協議は実施できていない状況となっております。

- 2 次に③ ※3 再休止申請変更のところで「スクールゾーン解除の手続きについて住民の合意を図るため継続協議中となっている。」とあるが上記内容と同様に継続協議とはなっていない。

【回答2】

【回答1】のとおり。

- 3 次に④ ※4 スクールゾーン解除の協議・スクールゾーン(町道幹線5号線の一部・町道幹線17号線)の令和2年4月解除に向けてとあるが上記内容と同様に継続協議にはなっていない。

【回答3】

【回答1】のとおり。

4 次に、「資料5」のタイムスケジュールについては、三芳町が住民説明会で発言した「効果検証」の実施後に住民の同意を経てから警察に要望書を提出するとのことであるため、要望を受けたのちの、規制廃止に向けた手続きを行うため、本年11月にバスの運行を開始することは時間的に困難ではないかと考える。

また、警察本部の申し入れの通り、スクールゾーンの解除と新たにバスを走らせることは別問題であるため、規制解除後に検証を行い安全が確認できてからバス路線を検討することが通常の流れであると考えます。

【回答4】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々な事業が自粛されている中で、今後スケジュール等を再調整する必要があると考えております。また、新規バス路線については、スクールゾーン等の課題が解決した後に運行開始させるものと考えております。

5 次に、「資料7」町道16号線及び押本材木店交差点、のバス路線にあつては、

- ・大型通行禁止の交通規制がなされた路線であり大型バスの路線としてはなじまないこと。

- ・押本材木店交差点は事故多発交差点であり大型バスを右折進入させることは危険であること。

ことは再三、三芳町に申し向けていたが、三芳町からの

- ・付近住民は路線バスの運行を強く望んでいる。

- ・今後、押本交差点を定周信号化できるよう道路改良を進めていく。

との申し出を踏まえバス路線としての話を進めてきた。

しかし、三芳町の都合で一度決定した信号機の設置も中止になったことを考えると、現在、地元住民はバス路線に対する危険性を理解したうえで、大型バスの路線としての整備を望んでいるのか、スクールゾーンの規制と同様の齟齬が生じないように、真に住民が要望しているかを確認するため、住民説明会等を行い住民からの同意をうる必要があると考えます。

また、交通管理者としては事故多発交差点を路線バスのコースにすることを再考又は交差点改良後の効果検証を行い安全性の確認後にバス路線を検討することが通常の流れであると考えます。

三芳町から「ほとんどの住民がスクールゾーンの解除に反対している。」「三芳町としては効果検証を行い必要があれば規制解除の要望を警察に行く。」との申し立てを受けたので、バス路線として運用を開始する前に住民の意見を十分に取り入れ、住民説明会等を実施し、地元住民、学校関係者等の不安を払拭したうえで、はじめてバス路線として運用を開始することが妥当かと考える。

したがって、危険箇所の中には、三芳町の都合により一部信号機の設置が中止になった交差点(押本材木店交差点)も含まれていることから、路線の変更やバスのサイズの変更等も視野に入れた再協議が必要であると考えます。

今後とも住民の意見を第一に考慮し、「安全は全てに優先する。」との考えのもと、三芳

町の政策にご協力させていただきます。

【回答5】

押本材木店交差点については、安全性を確保するため、改良工事を進めているところです。しかし、改良工事後についても、更なる安全性を確保できるよう周辺住民、関係機関等と協議、調整を図っていきたいと考えております。

また、スクールゾーンの解除につきましても同様に周辺住民、関係機関等と協議、調整を図っていきたいと考えております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々な事業が自粛されている中で、今後スケジュール等を再調整する必要があると考えております。また、新規バス路線については、スクールゾーン等の課題が解決した後に運行開始させるものと考えております。